

本時のテーマ	児童同士の望ましい人間関係づくりの支援の在り方 ～SSTを取り入れたインタビュー活動の工夫～
--------	---

1 単元名 きいて しらせよう「ともだちに、きいてみよう」

2 単元の目標

- 友達について自分が聞きたいことや、友達が発表していることを、興味をもって聞こうとする。
(国語への関心・意欲・態度)
- 話す順序を考えながら丁寧な言葉で話したり、大事なことを落とさないようにしながら聞いたりすることができる。
(話すこと・聞くこと)
- 言葉には、事物の内容を表す働きや、経験したことを伝える働きがあることに気付くことができる。
(伝統的な言語文化と国語の特質に関する事項)

3 単元について

(1) 単元観

本単元は、小学校学習指導要領(国語)第1学年及び第2学年「A話すこと・聞くこと」の「エ 大事なことを落とさないようにしながら、興味をもって聞くこと。」を受けて設定したものである。「ともだちに、きいてみよう」では、友達にインタビューをして、好きなことや頑張っていることなどの情報を収集し、分かったことを他の友達に伝える他己紹介を行う。友達に伝えたい相手の良いところを落とさず聞き、分かったことを丁寧な言葉で話す力を身に付けることをねらいとしている。そこで、大事なことを落とさないようにしながら、興味をもって聞く力を身に付けさせるために、「みんななかよし ともだちずかんをつくる」という言語活動を位置付ける。この単元での学習を通して、意識して話を聞く態度や、大事なことを落とさずに聞く力を身に付けさせたい。

(2) 児童観(省略)

(3) 指導の手だて

指導に当たっては、「みんななかよし ともだちずかんをつくろう」という言語活動を設定し、友達の好きなことを詳しく取材し、紹介するという目的意識をもたせる。その上で、イメージマップ型のインタビューメモ用紙を活用して、聞き取るべきことに注意してインタビューできるようにする。インタビューの前には、グッドモデルを提示し、詳しい内容の聞き方を理解させたい。

さらに、『学びのきざはし』の中の「効果的な発表のさせ方と発言の取り上げ方」を意識し、「聞き方名人」を教室に常時掲示して、話が最後まで聞けない児童も集中して話が聞けるようにする。

4 指導と評価の計画(4時間扱い)

時	学 習 内 容	評 価 規 準	評価の観点		
			関	話	言
1	・教科書を読み、学習計画を立てる。	・図鑑作りに関心を持ち、友達に聞きたいことを進んで考えようとしている。	○	○	
2 (本時)	・友達にインタビューして情報収集する。	・自分が聞きたいことや友達に伝えたいことを聞き取っている。	○	○	
3	・聞いたことをまとめ、発表の練習をする。	・話す内容を取捨選択したり、順序を考えたりして発表の練習をしている。		○	○
4	・友達についてわかったことを発表し図鑑を作る。	・「～だそうです。」の形式で、聞いたことを話している。		○	○

5 本時の指導

(1) 目 標

- 自分が知りたいことや友達に伝えたいことなどをインタビューし、情報収集することができる。

(2) 準備・資料

インタビューカード キーワードシート マイク 「聞き方名人」掲示物 拡大掲示物

(3) 展開

(斉…一斉 個…個人 ペ…ペア グ…グループ)

目指す姿・言葉

主な学習内容・活動	時間形態	・支援 ⑤ 評価 ◎テーマに迫る手だて
1 本時の学習課題を知る。 きしゃになって、くわしくインタビューしよう。	3 斉	・前時の活動を想起し、「ともだちずかん」を作るために必要な情報を集めるという目的意識をもたせる。 ・「記者」からオリンピックのインタビューなどを想起させ、取材のイメージをもたせる。
2 インタビューの仕方・約束を確認する。 ・役割分担 (答える人1人・記者2人) ・終わりまで聞いてからメモする。 ・交代で質問する。 ・一つの質問に3回つなげて質問する。	5 斉	・内容を深める質問の仕方は、グッドモデルとキーワードを提示することで理解させるようにする。 ◎「聞き方名人」の掲示物を示し、上手な聞き方の確認をすることで、意識して最後まで話が聞けるようにする。
3 交代しながらインタビューをする。 (1) C (答える) と A・B (記者) (2) A (答える) と B・C (記者) (3) B (答える) と C・A (記者) ・今楽しいと思うことは何ですか。 →なわとびです。 ・例えば何をとびますか。 →二重跳びです。 ・何回くらい跳べるんですか。 →一番多く跳べた時は、5回でした。 ・〇〇さんは、そんなことができるんだ。 すごいね、知らなかったよ。	30 グ	・前時に考えていない質問をしても良いことを伝え、意欲的に活動する手立てとする。 ・発表できない児童には、キーワードシートを用意し、使いたいワードを指さして質問させることで安心して参加できるようにする。 ・マイクを持たせることで、質問の順番を確認させたり意欲付けを図ったりする。 ・交代の際には、「聞き方名人」で聞いているか声かけをして、意識をさせる。 ⑤ その友達について知りたいことを、詳しく聞いている。(観察・ワークシートの記述)
4 本時の活動を振り返り、発表する。 ・キーワードで詳しく聞けた。 ・たくさん質問できた。 ・友達のことがよくわかった。 ・終わりまで聞けた。	5 個 斉	・詳しく質問できた児童はイメージマップが広がっているということを知らせることで、課題達成の姿を明確にして振り返りができるようにする。 ・進んで発言したり、受容的に聞けたりした児童を称賛することで、互いを認め合うようにする。
5 次時の見通しをもつ。	2 斉	・次時はインタビューしたことをまとめ、友達に伝えたいことを選んで発表練習することを伝え、意欲につなげる。

(4) 板書計画

聞き方名人
 あ あいてをみて
 い 一生懸命に
 う うなずきながら
 え えがおで
 お おわりまで

④
 ・キーワードでくわしくきけた。
 ・たくさんしつもんできた。

どのくらい?

たとえば?

5かい

にじゅうとび

おねえちゃん

なわとび

たのしいことは?

Aさん

ともだちのはなしをさいごまできこう。

⑤

○キーワード
 ・たとえは?
 ・どうして?
 ・ほかには?
 ・どのくらい?(かず・りょう)

○インタビューのやくそく
 ・おわりまできく↓かく
 ・こうたいでしつもんする
 ・三かいつなげる

⑥ 11/*

ともだちに、きいてみよう

きしゃになって、くわしくインタビューしよう。